

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部経営学科	築取 萌	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

- ・経営組織論 A・B
- ・経営管理論 B
- ・経営学総論 B
- ・コンピュータリテラシー1・2
- ・基礎ゼミナール
- ・研究ゼミナール

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

経営学は、多様な学問領域が交錯する複合的な分野である。この学問は、我々が日常経験する複雑な社会や企業の活動と密接に関連している。そのため、経営学を深く理解し、実践的に活用するには、単に理論を暗記するのではなく、理論をレンズとして使い、現実の世界を解釈し、問題の本質を考察することが不可欠である。この視点を踏まえ、講義では一方的な知識の伝達を避け、学生が自分ごととして捉えられるよう、身近な事例を取り入れたり、アクティブラーニングを積極的に取り入れるアプローチを重視している。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

アクティブラーニングを重視し、講義では学生が自らの論理的思考を活かす記述型の課題を多用する。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

講義での対話や日常的な学生とのやりとりから、学生は社会的課題を自ら見つけ、解決へ向けて積極的に関与するようになってきている。具体的には、ボランティア活動を自発的に始めたり、独自のビジネスプランを立案する学生が現れている。また、講義に対する学生の感想からは、内容が実務に直結しており有益であるとの評価が得られている。これらの反応は、学生の実践的な能力を育成し、実生活や将来の職業選択に具体的な影響を与えていることを示していると考えられる。

【目標】(今後どうするか)

今後も学生との積極的な対話を重視し、互いに学び合える講義の展開を目指していく。この対話を通じて、学生が自らの問題意識を持ち、将来に向けた自発的な探求活動に取り組むことを促す。目標は、より多くの学生が独自のビジネスプランを立案したり、新たな社会貢献活動に参加するなど、具体的な行動に結びつけられるような学びの場を提供することである。